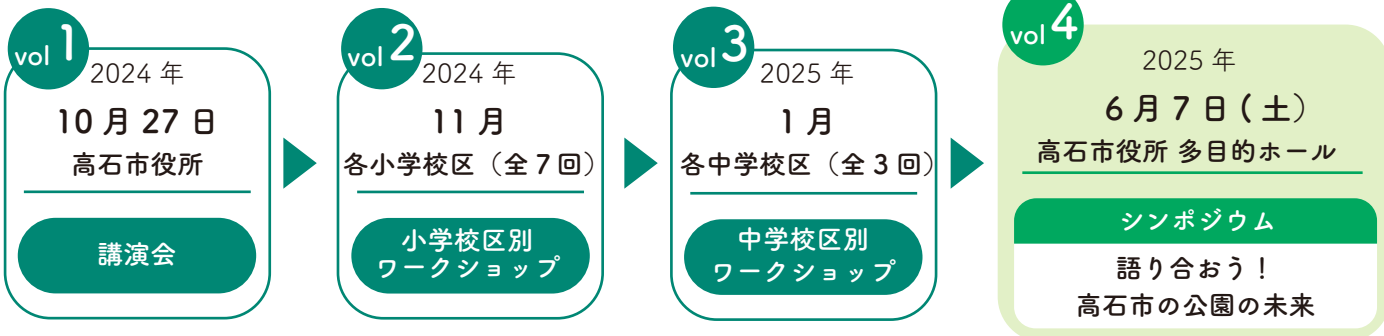


高石市の公園をもっと良くする 市民アイデア会議

ニュースレター 第4回

高石市の公園をもっとよくする市民アイデア会議とは？

市民とともに、「公園でこんなことをやってみたい！」「一緒に公園を育てたい！」といったアイデアを考え、『高石市の公園をもっと良くする』ためのアクションの実践へと繋げていく機会とすべく連続イベント・ワークショップを全4回で開催しました。



vol4 シンポジウム

『語り合おう！高石市の公園の未来～みんなでつくり、育てつづける公園へ～』

参加 59 名

開催概要

『高石市公園施設最適化プラン（案）』についての説明と、パネルディスカッションを行い、高石市の公園の未来について、会場のみんなで語り合いました。

当日のようす

スケジュール

開会あいさつ

【第1部】 高石市公園施設
最適化プラン(案)の紹介

休憩

【第2部】 パネルディスカッション

“市民の力でつくる！
高石市の公園の未来”

閉会あいさつ・終了



🌿 パネルディスカッション概要（主な意見）

コーディネーター



高石市長
畑中政昭

パネリスト



大阪公立大学
名誉教授
下村泰彦氏



高石市
公園愛護会連合会
会長
佐治哲夫氏



高石市を
楽しい街にしよう会
代表
清家三佳子氏

テーマ1：みんなで楽しく！公園づくり、公園育て

- 話題提供 ①『市民アイデア会議』これまでの取組 高石市土木管理課交通公園係
②公園愛護会の活動紹介 佐治氏
③高石市を楽しい街にしよう会の活動紹介 清家氏



これまで、公園の管理や公園でイベントに関わっていただいた中で、課題ややりがいを感じていただくことはありますか。

公園愛護会のメンバーも高齢化しており、若い人は仕事があってなかなか参加できません。常に人手不足ですが、通りすがりの方が「ご苦労さま」「きれいになったね」など声をかけてくれるのが本当に嬉しくて、「次は何をしよう」と前向きな気持ちになります。



イベントに参加した人が「楽しかった」「また来たい」と笑顔で帰っていく姿を見ると達成感ややりがいを感じます。もっと多くの人や団体と連携して、活動を広げていけたらと思います。公園で定例イベントなどができれば、参加したいという人が出てくるかもしれません。



長く続けることで人が集い、声をかけあう仲になる、といったコミュニティの醸成が大切だと考えます。使命感とやりがいを持って取り組まれている皆さんの思いを、市民にどう理解してもらおうか、そこから始める必要があると思います。



テーマ2：広げよう！公園づくり、公園育ての輪



公園とのかかわりを盛り上げていくために何ができるか、輪を広げるアイデアなどがありますか。

大事なものは、継続することです。ずっと続けていけるような仕掛けづくり、例えば、植樹やコミュニティガーデンづくりも、見た目だけでなく手入れがしやすく環境にも良い多年草や果実の木に切り替えるなど、中長期的な視点で考えていくことが大切だと思います。



コミュニティガーデンの植え替えなど、自治会やシニアクラブに声をかけて、協力しながらやっていけたらと思います。子どもたちが思いきりボール遊びできる場所もぜひつくっていただきたい。今、そういう遊び場が本当に必要だと感じています。



高石市 公園づくり・公園育て宣言



高石市 公園づくり・公園育て宣言

私たちは
高石市の「公園づくり」と「公園育て」に継続して取り組み
将来に誇れる魅力的な公園のあるまちを実現します

市民の皆さまに

これから（も）、
「公園づくり」「公園育て」に
ぜひ関わってほしい
● 日常的な管理（清掃活動、
植栽の手入れなど）への参加
● イベントなど様々な公園の使
い方を考え、実践する等

高石市の行政として

皆さまとともに
「公園づくり」「公園育て」に取り
組み、多様な活動を支援します。
● プランに基づく公園管理、
整備等の推進
● 多様な担い手が公園に関わる
場づくり、体制の整備等

公園づくりは、地域や規模によりさまざまですが、みんなで話し合っ
て方向性を決められたことが何より大
切だと感じました。これからも、市
の財産である公園を、みんなで活か
し、育てつづける公園として、愛着
を持って使い、育てていけたらと思
います。

今日はその宣言の日。
ここにいる皆さんか
ら、もっと多くの人
へ輪を広げましょう。



たくさんのご参加
誠にありがとうございました。